

# 月別市況

1月

[切花]

取扱数量は前年比 1.5%増で、平均単価は前年比 12.8%安であった。上旬は暖冬の影響による前進出荷や買い替え需要によりまとまった入荷となったが、中旬以降は気温低下や降雪等もあり平年より入荷量が減少し、月全体としては前年並みとなった。上旬は成人式需要等により引きがあったが、中旬以降は特段の引きもなく、単価安となった。

主要品目別では、「輪菊」は、前年と比較して入荷量は増加し、上位等級少なく、下位等級中心の入荷となった。例年より気温が高く業務需要が低迷したため軟調な相場となったが、下旬以降は冷え込みもあり上位等級を中心に品薄になったことで引き合いが強く、堅調な相場となった。

「スプレー菊」は、前年並みの入荷量となったものの、業務需要中心であり、下位等級は厳しい相場展開となった。「バラ」は、前年と比較して入荷量は増加した。燃油費高騰の影響により高値だった前年に比べ単価安となったが、相場は安定していた。「スイトピー」は、前年と比較して入荷量は減少した。前年同様堅調な相場となった。

[鉢物]

取扱数量は前年比 7.8%減で、平均単価は前年比 5.3%高であった。鉢花は、前年と比較して入荷量が減少し、耐寒性のある商材を中心に堅調な相場で推移した。観葉植物は単価では高め傾向となったが、入荷は前年並みから微減となった。

主要品目別では、「プリムラ類」は、ジュリアンやポリアンタの開花遅延により、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「サイネリア」も、開花遅延等の影響により、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「カランコエ」は、前年と比較して入荷量は減少し、堅調な相場で推移した。「シンビジューム類」は、昨夏の高温の影響から、入荷量が著しく減少した令和4年と同程度となり、平年を下回る入荷量となり、単価高となった。

2月

[切花]

取扱数量は前年比 2.9%増で、平均単価は前年比 14.4%安となった。上旬は1月後半の冷え込みにより前年を下回っていたものの、中旬以降は暖冬の影響から前年以上の入荷となった。業務需要が少なく、前年に比べ単価安となった。

主要品目別では、「輪菊」は、前年と比較して入荷量は増加したが、業務需要の低迷もあり単価安となった。「バラ」は、平年より入荷量が少なく、前年とほぼ同等の水準となった。単価は品薄高であった前年と比べ、安くなった。「スイトピー」は、前年と比較して入荷量は増加し、単価安となった。「チューリップ」は、前年並みの入荷量となった。上旬は前年を下回る

単価となったが、下旬は卒業式等の需要増に伴い、安定した相場となった。

[鉢物]

取扱数量は前年比 3.8%減で、平均単価は前年比 3.2%高であった。低温等天候の影響により、前年同様、平年を下回る入荷量となった。鉢花は、ランキユラス等耐寒性のある商材を中心に引き合いが強く、らん鉢は、平年を下回る入荷量となったが、前年並みの単価となった。

主要品目別では、「プリムラ類」は、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「サイネリア」は、昨夏の暑さの影響による苗不良のため、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「カランコエ」は、開花不足及び生産者の減少傾向により前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「アザレア」は、前年と比較して入荷量は減少し、例年より引き合いが強く、堅調な相場で推移した。

3月

[切花]

取扱数量は前年比 9.3%減で、平均単価は前年比 7.4%高であった。2月の気温が高く、3月の気温が低くなったため、入荷時期の前進と後退が生じ、入荷量は減少した。彼岸需要に加え、卒業や送別等のイベント需要もあり、洋花を中心に引き合いが強まり、単価高となった。

主要品目別では、「輪菊」は、上位等級中心の入荷となり、前年と比較して入荷量は減少した。上旬から中旬までは彼岸需要等があり、引き合いが強く、堅調な相場で推移した。「スプレー菊」は、前年と比較して潤沢な入荷となり、単価安となった。「バラ」は、天候不順等の影響から前年と比較して入荷量は減少した。卒業や送別等のイベント需要もあり、品薄により高値相場となった。「ガーベラ」は、前年と比較して入荷量は大幅に減少した。イベント需要等で月を通して引き合いが強く、品薄により非常に高値で推移した。「チューリップ」は、2月の気温が高かった影響から前進出荷となり、前年と比較して当月の入荷量は減少したが、イベント需要等により引き合いが強く、安定した相場で推移した。

[鉢物]

取扱数量は前年比 15.3%減で、平均単価は前年比 9.0%高であった。鉢花は、前年と比較して入荷量は減少した。卒業式需要等があり、品薄も相まって単価高となった。らん鉢は、前年と比較して入荷量は減少した。ファレノプシスを中心に年度末需要等が活発となり、堅調な相場で推移した。観葉植物は、前年と比較して入荷量は減少し、引き合いが強まった。

主要品目別では、「サイネリア」は、前年と比較して入荷量は減少した。卒業式需要等があり、堅調な相場で推移した。「ゼラニウム」は、前年と比較して入荷量は減少した。引き合いが弱く、前年を下回り、単価安となった。「ランキユラス」は、前年と比較

して入荷量は微減し、単価安となった。「アザレア」は、開花が前進したため前年と比較して入荷量は大幅に減少し、単価高となった。「ファレノプシス」は、前年と比較して入荷量は減少した。年度末需要等があり、高値相場で推移した。

#### 4月

##### [切花]

取扱数量は前年比 7.3%増で、平均単価は前年比 2.7%安であった。2月から3月にかけて気温差が激しく、品目により入荷状況にばらつきが生じたものの、前年と比較して入荷量は増加した。上旬の入学式や新年度需要等以降は大きな需要もなかったために引き合いが弱く、前年と比較して単価安となった。

主要品目別では、「輪菊」は、前年と比較して入荷量が増加し、単価安となった。「カーネーション」は、前年と比較して入荷量は増加した。安定した取引となり、前年と比較して単価高となった。「アルストロメリア」は、前年と比較して入荷量は増加した。業務需要や量販店を中心に、おおよそ前年並みの相場となった。「ガーベラ」は、前進出荷だった前年と比較して入荷量は増加し、単価安となった。

##### [鉢物]

取扱数量は前年比 5.4%増で、平均単価は前年比 3.4%安であった。らん鉢は、入荷量は前年並みとなり、上旬に人事祝いやギフト需要等があったものの、その後の気温変動や悪天候等により引き合いが弱く、単価安となった。鉢花は、気温の高まりとともに前年と比較して入荷量は増加したが、例年よりも母の日が遅いこともあり、下旬以降の動きが厳しくなり、前年を下回る相場となった。

主要品目別では、「ベゴニア類」は、前年と比較して入荷量は増加した。気温の寒暖差の影響等から、例年になく引き合いが弱く、前年と比較して単価安となった。「ファレノプシス」は、前年並みの入荷量となった。ギフト需要が鈍く、前年と比較して単価安となった。「ポトス」は、前年と比較して入荷量は減少したものの、前年並みの相場となった。「ハイドランジア」は、3月出荷予定分が遅れた産地もあり、前年と比較して入荷量は増加した。引き合いがよく、前年と比較して単価高となった。

#### 5月

##### [切花]

取扱数量は前年比 3.6%減で、平均単価は前年比 10.4%高であった。為替の影響等により輸入品の入荷が少なくなり、前年度と比較して入荷量は減少した。ゴールデンウィークの仏花需要や母の日需要により引き合いが強くなり、前年と比較して単価高となった。

主要品目別では、「輪菊」は、作付数量の減少等の影響により、前年度と比較して入荷量は減少した。品薄による単価高となった。「カーネーション」は、例年よりも母の日の日程が遅く、5月中心の入荷となったため、前年と比較して入荷量は増加した。月前半は

母の日需要で引き合いが強かったものの、母の日以降は引き合いが弱く、概ね前年並みの相場となった。「バラ」は、前年並みの入荷量となった。母の日需要等があり、安定した相場で推移した。「スターチス類」は、前年並みの入荷量となった。高品質のものが出回り、堅調な相場で推移した。「ガーベラ」は、前年並みの入荷量となった。母の日需要等があり、前年並みの相場となった。

##### [鉢物]

取扱数量は前年比 6.3%減で、平均単価は前年比 6.0%安であった。鉢花は、前年と比較して入荷量は減少した。月前半はカーネーションやハイドランジアを中心に母の日需要があったものの、前年と比較して単価安となった。観葉植物は、前年と比較して入荷量は減少したものの、前年並みの相場となった。

主要品目別では、「カーネーション」は、母の日向け商材の入荷が5月中心となったが、前年と比較して入荷量は減少した。母の日需要はあるものの引き合いは弱く、単価安となった。「クレマチス」は、前年と比較して入荷量は減少したものの、単価安となった。「ファレノプシス」は、前年と比較して入荷量は減少した。月前半は母の日需要によりミディ系を中心に引き合いが強かったが、上位等級の引き合いが弱く、前年と比較して単価安となった。「ハイドランジア」は、昨夏の暑さの影響から入荷量は前年と比較して減少した。母の日需要等による引き合いはあるものの、前年と比較して単価安となった。

#### 6月

##### [切花]

取扱数量は前年比 7.0%減で、平均単価は前年比 8.5%安であった。一部品目で天候要因等により前月までに入荷が前進していた影響等もあり、前年と比較して入荷量は減少した。父の日需要等で一時的に引き合いが強まった品目はあったものの、相場は低迷した。

主要品目別では、「輪菊」は、高温の影響から前進出荷となり、前年と比較して入荷量は増加し、単価安となった。「スプレーカーネーション」は、前年と比較して入荷量は減少したものの引き合いは弱く、単価安となった。「バラ」は、前年と比較して入荷量は減少した。大きな需要はないものの、概ね前年並みの相場となった。「ガーベラ」は、高温の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。ブライダル需要等による引き合いも弱く、前年と比較して単価安となった。

##### [鉢物]

取扱数量は前年比 4.2%減で、平均単価は前年比 4.3%高であった。鉢花は、前年と比較して入荷量は減少したものの、単価は前年並みとなった。らん鉢は、下旬にギフト需要等があり、単価高となった。観葉植物は、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。

主要品目別では、「ベゴニア類」は、前年と比較して入荷量は減少した。気温が高く、花もちの懸念等か

ら引き合いが弱かったが、前年と比較して単価高となった。「ハイビスカス」は、前年と比較して入荷量は減少したものの、単価安となった。「ファレノプシス」は、前年と比較して入荷量は減少した。株主総会需要等で下旬を中心に引き合いが強まり、単価高となった。「ポトス」は、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。

## 7月

### [切花]

取扱数量は前年並みで、平均単価も前年並みであった。高温の影響で開花抑制がかかった品目も見られたが、前年並みの入荷量となった。7月盆の需要があり、和花の低迷相場はやや回復し、洋花は例年並みの相場展開となった。

主要品目別では、「輪菊」は、高温等の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。前月から引き続き単価安は、7月盆の需要期を中心に引き合いが強くなったものの、前年と比較して単価安となった。「スプレーカーネーション」は、前年と比較して入荷量は減少した。7月盆の需要期を中心に引き合いがあり、単価高となった。「バラ」は、前年並みの入荷量となり、安定した相場で推移した。「トルコキキョウ」は、前年と比較して入荷量は増加し、単価安となった。「ひまわり」は、前年並みの入荷量及び平均単価となった。

### [鉢物]

取扱数量は前年比 6.1%減で、平均単価は前年比 3.9%高であった。鉢花は、前年と比較して入荷量は減少した。ほおずき等季節感のある商材や耐暑性のある商材を中心に好調な取引となった。らん鉢及び観葉植物は、高温等の影響により前年と比較して入荷量は減少したが、ギフト需要があり、堅調な取引となった。

主要品目別では、「ハイビスカス」は、前年と比較して入荷量は減少したものの、単価安となった。「ブーゲンビリア」は、前年と比較して入荷量は増加した。小さいサイズの引き合いが強くなり、前年と比較して単価高となった。「ファレノプシス」は、高温による痛みが生じる等の影響から、前年と比較して入荷量は減少し、ギフト需要もあり、単価高となった。「ポトス」は、高温による出荷遅れ等の影響があり、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。

## 8月

### [切花]

取扱数量は前年比 2.0%減で、平均単価は前年比 7.1%高であった。猛暑の影響により、前進開花や開花遅延、品質低下等が発生し、前年と比較して入荷量は減少した。8月盆の需要により引き合いが強くなり、8月盆以降も品薄により単価高となった。

主要品目別では、「輪菊」は、高温等天候の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。8月盆の需要から引き合いが強くなり、品薄のため単価高となった。「バラ」は、前年並みの入荷量となった。高温等天候の影響により入荷の少なかった上位等級の引き合い

が強く、前年と比較して単価高となった。全体としては前年と比較して単価高となった。「トルコキキョウ」は、高温等天候の影響を受け、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「りんどう」は、高温等天候の影響を受け、平年よりも入荷量の少なかった前年並みの入荷量となり、品薄による単価高となった。

### [鉢物]

取扱数量は前年比 18.0%減で、平均単価は前年比 5.8%高であった。高温による生育不良等の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。鉢花は、猛暑等の影響を受け、入荷量は減少した。らん鉢は、白系を中心に引き合いがあり、品薄により堅調な相場となったが、色物系の動きは鈍く、前年と比較して単価安となった。

主要品目別では、「菊類」は、高温による開花遅延等が生じ、前年と比較して入荷量は減少したが、おおよそ前年並みの単価となった。「りんどう」は、一部産地での前進出荷等により、前年と比較して入荷量は増加した。下旬以降の悪天候の影響もあり、引き合いが弱く、前年と比較して単価安となった。「ハイビスカス」は、高温による開花遅延等の影響から平年より入荷時期が続いたものの、前年と比較して入荷量は減少し、引き合いは弱く単価安となった。「ファレノプシス」は、前年と比較して入荷量は減少した。大輪系は8月盆需要等があったものの、前年並みの単価となった。

## 9月

### [切花]

取扱数量は前年並みで、平均単価は前年比 6.6%安であった。上旬は和花で高温による開花遅延があった影響等があったが、下旬は洋花を中心に入荷量がまとまり、前年並みの入荷量となった。重陽の節句や敬老の日、お彼岸など需要が多岐にわたり、引き合いが強かったが、主に和花で品質不良が多くみられ、単価安傾向となった。

主要品目別では、「輪菊」は、高温等の影響により品質低下等が生じ、前年と比較して入荷量は減少し、単価安となった。「小菊」は、高温による生育遅延の影響で、前年と比較して入荷量は減少した。お彼岸需要以降に入荷がずれ込むものもあり、単価安となった。「スプレーカーネーション」は、高温による前進開花や品質低下等の影響から、前年と比較して入荷量が減少し、単価安となった。「りんどう」は、高温等天候の影響による開花遅延や品質不良により入荷量が大幅に減少した前年と比較して、入荷量は増加し、単価安となった。

### [鉢物]

取扱数量は前年比 11.0%減で、平均単価は前年比 1.1%安であった。鉢花は、高温等天候の影響により前年と比較して入荷量は減少した。敬老の日向けのギフト需要等があったものの、前年並みの単価となった。らん鉢は、組閣に伴うギフト需要等があったものの、

高温の影響により前年と比較して入荷量は減少し、引き合いが弱かったため単価安となった。

主要品目別では、「ペゴニア類」は、高温等の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。敬老の日向けの需要等があったものの、弱含みの相場となった。「りんどう」は、高温による開花遅延等の影響により、前年と比較して入荷量は減少したものの、平均単価は前年並みとなった。「カランコエ」は、りんどう同様高温による開花遅延等の影響により、前年と比較して入荷量は減少したものの、単価安となった。「ファレノプシス」は、前年と比較して入荷量は減少した。大輪系は組閣や法人向けの需要があり、ミディ系は敬老の日向けの需要があったものの、暑さにより小売り等の引き合いは弱く、前年並みの単価となった。

## 10月

### [切花]

取扱数量は前年比 2.4%減で、平均単価は前年比 7.2%安であった。夏場の猛暑からの高温が続いた影響により、品質低下や出荷時期のずれ等が生じ、前年と比較して入荷量は減少した。プライダル需要等もあったが、高温の影響から秋商材の引き合いが弱く、前年と比較して単価安となった。

主要品目別では、「輪菊」は、前年と比較して入荷量は減少した。中旬までは、高温による品質低下から上位等級が少なかったものの、入荷量の回復とともに引き合いが弱まったことで前年と比較して単価安となった。「小菊」は、前年並みの入荷量となった。高温による開花遅延等の影響により、前月予定の品種の入荷が当月上旬まで続いたため、前年と比較して単価安となった。「バラ」は、夏場の高温の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。大きな需要はなかったが入荷も少なかったため、安定した相場で推移した。「くじゃく草」は、生育状況がよく、安定した入荷となり、前年並みの入荷量となった。引き合いが弱く、単価安となった。

### [鉢物]

取扱数量は前年比 3.9%減で、平均単価は前年比 4.1%高であった。鉢花は、一用品目において、高温等天候の影響による出荷遅延や品質低下等があり、前年と比較して入荷量は減少したものの、単価安となった。らん鉢は、開花遅延等の影響により、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。

主要品目別では、「菊類」は、前年と比較して入荷量は減少した。品質低下により引き合いが弱く、前年と比較して単価安となった。「ミニシクラメン」は、前年と比較して入荷量は減少したが、前年並みの単価となった。「カランコエ」は、前年と比較して入荷量は減少した。高温の影響による品質低下のため、単価安となった。「アザレア」は、開花が早まり順調な入荷となり、前年と比較して入荷量は増加したが、単価安となった。

## 11月

### [切花]

取扱数量は前年比 5.7%減で、平均単価は前年比 22.0%高であった。夏場の高温等天候の影響を受け、入荷が減少した品目があったため、前年と比較して入荷量は減少した。一部洋花において、プライダル需要に加え、いいマムの日やいい夫婦の日等のイベントや、クリスマス向け商材の需要により引き合いが強まり、単価高傾向となった。

主要品目別では、「輪菊」は、前年と比較して入荷量は減少した。高温の影響から品薄による単価高となった。「スプレー菊」は、高温等の影響で国産品は品薄となったが、輸入品の入荷が増加したため、前年と比較して、入荷量は増加した。国産品の引き合いが強くなり、前年と比較して単価高となった。「バラ」は、前年と比較して入荷量は増加した。業務需要を中心に安定した引き合いがあり、強保合の相場で推移した。「ガーベラ」は、天候の影響から前年と比較して入荷量は減少した。業務、小売需要を中心に安定した引き合いがあり、単価高となった。

### [鉢物]

取扱数量は前年比 1.6%減で、平均単価は前年並みであった。鉢花は、夏場の高温等天候の影響を受けた一部商材の出荷遅延等があったが、前年並みの入荷量となった。前年と比較して、単価安となった。らん鉢は、開花遅延等があり、前年と比較して入荷量が減少し、品薄による単価高の傾向となった。

主要品目別では、「シクラメン」は、6号以上のサイズで開花遅延等があったものの、特に開花遅延等の影響が大きかった前年と比較すると入荷量は増加し、単価安傾向となった。「シャコバサボテン」は、高温障害による生育不良等で入荷量が著しく減少した前年と比較して、入荷量は増加し、単価安となった。「ポインセチア」は、出荷遅延等が一部あり、前年と比較して入荷量は減少し、前年並みの単価となった。「シンビジウム類」は、開花遅延や産地減少等の影響から、前年と比較して入荷量は減少したが、前年並みの単価となった。

## 12月

### [切花]

取扱数量は前年比 12.4%減で、平均単価は前年比 21.7%高であった。開花遅延や生育不良により国産品の入荷量は大幅に減少し、輸入品は前年並みの入荷量となったため、前年と比較して入荷量は減少した。クリスマス商材の需要や年末需要等があったが、月を通して品薄による単価高の傾向となった。

松市は、6、7月の梅雨の多雨やその後の高温等の影響により「門松」「若松」とともに、入荷量は増加した。生育が良く上位等級が多くなり、下位等級が少なくなった。「門松」は、上位等級の潤沢な入荷から、前年より低い相場となった。

千両市は、高温、干ばつによる実の着色遅れ等の影響はあったものの、上位等級が中心の入荷となり、全

体としては平年比微減の入荷となった。上位等級は需要減の影響から軟調な相場となり、下位等級は引き合いが強く、おおむね平年並みの相場となった。

主要品目別では、「輪菊」は、一部産地で生育不良が見られ、前年と比較して入荷量は減少した。上位等級の引き合いが強く、堅調な相場となった。「スプレー菊」は、前年と比較して入荷量は減少した。業務需要等から引き合いが強く、前年と比較して単価高となった。「小菊」は、一部産地で開花遅延や生育不良があり、前年と比較して入荷量は減少し、単価高となった。「バラ」は、国産品の入荷量が減少したため、前年と比較して入荷量は減少した。クリスマス向けの需要等は弱かったが、品薄により単価高で推移した。「ガーベラ」は、夏の高温や当月の急激な気温の低下の影響により、前年と比較して入荷量は減少した。年末需要等から引き合いが強まり、品薄による単価高となった。

#### [鉢物]

取扱数量は前年比 8.2%減で、平均単価は前年比 4.7%高であった。鉢花は、前年と比較して入荷量は減少した。時季の商材や耐寒性のある商材を中心に引き合いがあったものの、前年並みの単価となった。らん鉢は、前年と比較して入荷量は減少した。ギフト需要等で引き合いが強く、前年と比較して単価高となった。

主要品目別では、「シクラメン」は、前年と比較して入荷量は減少した。品薄感から引き合いがあり、前年よりも高い相場となった。「プリムラ類」は、前年と比較して入荷量は減少し、前年並みの単価となった。「ポインセチア」は、全国的な生育遅延等の影響から、前年と比較して入荷量は減少した。品薄感から引き合いがあり、前年と比較して単価高となった。「シンビジューム類」は、夏場の高温等天候の影響を受け、前年と比較して入荷量は減少した。ギフト需要等があり、品薄感から引き合いがあり、堅調な相場で推移した。